



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: www.npb.or.jp



2015年7月10日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

6月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の6月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

井端 弘和
(読売ジャイアンツ)
初受賞

井端選手は、6月3日(水)東京ドームで行われた対オリックス2回戦、1対1で迎えた9回裏、一死で代打として打席に立ち、走者二、三塁の場面でセンター前へサヨナラ安打を放ちました。

この試合、巨人は初回到1点を先制しましたが、2回以降はオリックス投手陣の前に抑えられ無得点。最終回、一打サヨナラの場面で代打に起用された井端選手が見事期待に応え、試合を決めました。この勝利により巨人は横浜 DeNA と並ぶ同率首位に浮上。チームを5月4日以来1か月ぶりの首位へ導く大きな一打となりました。

井端選手のサヨナラ打は中日ドラゴンズ在籍時の2012年6月11日対日本ハム戦以来通算5本目。代打としては初となります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

吉田 裕太
(千葉ロッテマリーンズ)
初受賞

吉田選手は、6月14日(日)QVC マリンフィールドで行われた対巨人3回戦、2対2の同点で迎えた9回裏二死満塁、2ボール1ストライクから、レフトへ自身初のサヨナラ打を放ちました。

この日の千葉ロッテは5回到2点を先制され、8回まで無得点に抑え込まれる苦しい展開となりましたが、9回裏に福浦選手の二塁打、今江選手の安打で同点に追いつき、なおも続く好機に、9回表からマスクをかぶった2年目・吉田選手の一打で鮮やかな逆転勝利を収めました。最終回到2点差を逆転する劇的なサヨナラゲームは今シーズンのNPBでは初めて。千葉ロッテにとってもシーズン初のサヨナラ勝利と同一カード3連勝となり、上位を狙うチームを勢いづける試合となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

以上